

## 九戸村の学校教育環境の将来を考えるシンポジウム 実施報告

- 1 開催期日 令和3年11月21日(日)
- 2 開催要項 巻末に添付
- 3 参加者数 52名(教育長、教育委員4名及び事務局職員を除く)
- 4 アンケート回収率 92.9%(教育委員を含め56名のうち52名提出)
- 5 アンケート回答集計結果
  - (1)「年齢をお教えてください」
    - ・70代以上：14      ・60代：19      ・50代：6      ・40代：10
    - ・30代：2      ・20歳未満：0      ・未記入：1
  - (2)「このシンポジウムを何でお知りになりましたか」
    - ・広報：32      ・防災無線：0      ・知人、友人：5
    - ・その他：15(未記入5、村教委や各種団体からの案内9、PTAや保護者会1)
  - (3)「日時の設定はどうでしたか」
    - ・適切だ：45      ・あまり適切でない：5      ・まったく適切でない：1
    - ・未記入：1
  - (4)「あまり適切でない」、「まったく適切でない」とお答えになった方のみお答えください」
    - ・新年度初めがよい：1      ・土曜の午前中がよい：1      ・日曜の午前中がよい：2
    - ・平日の夜がよい：2
  - (5)「参加していかがでしたか」
    - ・大変参考になった：34      ・まあ参考になった：13      ・あまり参考にならなかった：3
    - ・まったく参考にならなかった：0      ・わからない 0      ・未記入：2
  - (6)「次回このような本村の学校教育に関するシンポジウムがあったら参加しますか」
    - ・必ず参加する：22      ・内容による：26      ・参加しない：0
    - ・わからない：2      ・未記入：2
  - (7)「参加してのお感想やご意見があればお書きください」
    - 統合するかいなか、いつ頃までに結論を出すのか、工程表は早い方がよいと思うが。村長の姿が見えなかったが？
    - 小規模校のメリットデメリットをくわしく聞くことができ、素晴らしいシンポジウムだったと思います。
    - パネリストの2人の先生の話も素晴らしかったですが、コーディネーターの岩淵教育長さんの「次世代子供達の育成が教育活動の目標」という言葉が印象に残りました。ありがとうございました。
    - 大変参考になりました。子ども、保護者の意向が一番大事だとあらためて感じました。教育は村の施策の一番重要。未来がかかるものです。今後とも関心を持っていきたいと考えました。
    - 山本先生の教育、統廃合の歴史的経過、国の誘導の状況、小規模校の良さを端的に示して下さい、また、村民が不安に思っている複式学級解消をすることが住民の求めるものであれば、村費での対応で可能と明快な見解も示されました。じっくりと時間をかけ、九戸村の住民自治を発揮して今後も議論していくことに期待しています。
    - 子育て世代の参加が少ないのが残念。小中一貫校について、理解されていない。分からない部分が多いと思うので、このような機会をもっと設けていただきたい。
    - 大変参考になりました。

- これからの九戸村の教育環境、子供達の未来を考えていくうえで参考にしていきたいと思います。
- 講師二人の講演内容は両極端で、教委が狙ったとおりだったと思いますが、後者の講師は政党色の強い方で、むしろ政治家にでもなった方が良いのでは。ある政党公認で。  
前者の講師は幅広い豊富な知識を基に話され、この様な内容を若い子育て世代に聞かせたいと思いました。パネルディスカッションの録音をしているのであれば、是非その機会（ホームページ等）を設けてほしい。（前段の個々の講演は不要）
- 議論は尽くされたと思う。早く統合して欲しい。
- 偏った認識を持っている（ズレている）講師は呼ばないで欲しい。（子どものことを考えていない。）
- 子どもを、いちばん考えて進めて欲しい。時間がない!!
- お二人の識者のお話を伺って、お二人の観点が別なので、比較は難しいが、高橋名誉教授は、小中高の教員経験があり、より現場の実状にそったお話をいただき、共感できた。将来を担う子どもたちには、いい教育環境の中でたくましく育てほしい。
- 村長さんや全議員さんと子育て世代の方々との意見交換の場をつくっていただければと思います。
- 教育環境の直接の受益者である現役保護者、将来の保護者の参加がとても少なく感じました。  
小学校、中学校のあり方について、村長の進める I J U 政策、子育て支援政策は、種をまいてから花が咲くまで時間がかかるけれども、そのへんも考慮したうえで、慎重で十分な議論をされたうえで、必ず住民合意されたうえで、進まれることを望みます。数日前、山根地区で移住者の方が第3子を出産されました。希望の灯りを大切にしてほしいです。
- 講師の先生から、九戸村の学校給食の無償、子ども手当の支給など高い評価がされました。こうした事を充実させることで「子育て世代を増やすこと」の提起もありました。合併はしなかったことも評価されましたし、九戸村は条件のいいところがたくさんある村と評価されたことが、これからの学校づくりに生かすべきことだとあらためて思いました。
- 今後の村の教育を考えるうえで、参考になるものでした。
- 講師の先生方の話がわかりやすく、学習により村の教育的効果を考え合うよいチャンスを与えられた回であったと思います。よいシンポジウムだったが、進展がなければ無駄なのではと考えます。なんとか九戸村の子どもたちの為に今後考えていきたいものです。九戸村の子ども達に良い環境を作っていきましょう!!
- 保護者の参加をもっと進めるべきだ。これからの教育環境を真剣に考えるべき。
- 現状、経緯、両サイドの考え方が勉強になった。
- 子供の為に早期に小中一貫校の統合を進めてほしい。
- 世代別、保護者か、一般か、それぞれで意見の集約を知りたい。どこかの年代での意見を重要視しなければ進まないと思う。
- 真逆の意見をお持ちの2先生方だったので、非常に興味深かったです。しかしながら、山本先生も20人程度の小規模校は望ましい環境である、とのご見解でした。5校一校に統合して調度そのぐらいになります。ぜひ早期に統合して下さい。又、小中一貫 or 義務教育をどのような形で行うかの議論は必要だと思います。最後に、本来村長さんがこの会をしっかりと見て、村民の声に直接触れるべきだと思います。
- 子育て世代に聞いてほしかった。
- 自分の子供がいる間は口を出し、居なくなると関心が無くなるのが残念だと思う。もっと子育て世代に対してメリット、デメリットを説明した方が良い。統合、一貫での教育委員会としてのカリキュラムを強く示すべきでは？
- 時間がないということが、落ち着いて話し合えたのかが分からない。質疑は事前にまとめておいた方がいいと思う。発言は個人的な発言がほとんど。片寄った発言だったと思う。もっと子供の事を考えた進め方が

必要だと思う。

- 参加はするが親達は何も考えていないのが残念です。
- 山本先生の講演をもう少し詳しく聞きたかった。
- 小学校の統合は必要と考えるが、小中一貫校は必要ないと思う。
- 小中一貫校のメリット、デメリットがよく解らなかつた。
- 高橋先生の内容にうなづく場合が多くありました。
- 山本先生のお話には疑問点を感じる思いで集中出来ないまま聞いたふり。(大都会に視点を向けた話に聞こえた)最後に高橋先生が話された事にも感銘しました。この言葉をお聞きし参加した事に良かったと言いたい。
- 和光大学は、左派系の教職員や学生がいるので、文科省や財務省の悪口ばかりで、山本先生はコロナの為に少人数学級が見直しされてきたという話は、コロナで大変苦しんでいる人達に失礼だと思います。<是非、子育て世代の意見を尊重してください。
- 進む高齢化の中で統合せずに金をかけ続けるのか考えていくべきだ。
- 勉強になりました。今後どうするか問題議論が必要。
- 大変勉強になりました。
- もっと多くの住民に参加して頂きたいとつくづく思いました。村民が村作りに対して関心を持ってほしい。
- 何がしたいかわからない。
- 子育て世代の参加が少なかったのが、残念でした。小学校の統合は必要だと思うが、小中一貫校は時期尚早というか、少年期の成長を考えなければ反対である。全く意見が違う先生から話が聞けて良かった。
- 学校の統合について先生お二人から、お二人の考え方について、お話をいただいて、今後の本村の教育環境のあり方を考える上で、大変参考になりました。
- 子どものためになる学校を、よろしくお願いします。地区に学校が無くなっても、自分の生まれた家があれば、戻ってこようとする人もいます。小学校の全てをつぶして新しい学校をつくってください。
- はっきり村での方針を示してほしい。
- 子どもへの教育へ悪影響が出ている。
- 子供達の事を真剣に考えてあげなくてはならないと感じ(強く)ました。

## 九戸村の学校教育環境の将来を考えるシンポジウム 開催要項

- 1 目的 少子化が進む本村において「持続可能で良質な教育環境」を構築するため、学校教育に関する有識者を招聘し、極小規模校を有する自治体の望ましい教育環境の在り方について全国的な傾向や他市町村の事例あるいは小中一貫教育など、少子化に対応した学校教育のあり方について理解を深める機会とする。
- 2 主催 九戸村教育委員会
- 3 日時 令和3年11月21日(日) 午後1時30分～4時30分
- 4 会場 HOZホール(九戸村公民館) 開発ホール
- 5 講師 青森中央学院大学経営法学部名誉教授 高橋 興 氏  
和光大学現代人間学部心理教育学科教授 山本 由美 氏
- 6 日程 13:30 開会  
第1部 基調講演(85分 40分×2 休憩5分)  
○演題「市町村による様々な小規模校対策の状況について」  
高橋 興 氏  
○演題「少子化が進行する地域の学校教育の現状について」  
山本 由美 氏  
～休憩～  
15:00 第2部 パネルディスカッション  
○テーマ「少子化が進む中山間地域における『持続可能で良質な教育環境』  
はどうあればよいか～九戸村の次世代を担う児童生徒のために～」  
16:30 閉会
- 7 参加対象 特に対象や制限を設けず参加者を募集する。なお、事前の申し込みは不要とする。
- 8 その他 1) 開催案内の全戸配布及び防災無線のほか、村のホームページにより周知を行う。  
2) 新型コロナウイルスの感染等の状況により、開催内容の変更や延期、または中止の判断をすることがある。